
成年コミック
PARENTAL ADVISORY EXPLICIT CONTENT
Buzz Kick





こんちわ～、深雪たぉ！
みなさん、しばらく振りです～。
去年の冬コミに続いて、再びサモンナイト2本ですっ。
中身は約束通りに「トリス×ハサハ」
オンリーとなっております。
ゲームをプレイした人で、ハサハのエンディングを
見た人は判ると思うんですが。
その過程で起こる「告白イベント」でワタシの魂は
この娘に奪われてしまいまちた。（爆）
一回ハマると「わりと冷静しゃいられない」人間なので
こーゆー本まで作ってしまう始末でアリマス。

今回は当初、ゲストを呼んで
「マンガ描いてもらっちゃおーっ！　テヘッ」
とか、姑息な手段に出たろーかと思いましたが。
「同人誌は個人で作ってこそ醍醐味がある」との
同人誌の神様の御告げにより、一切自分だけで
作りましたとさ。

・・・でも、1ページぐらい載ってるかもナ。
イヤ、無理かも・・・　よくわかんねーや。（オイ）

それしゃま、とりあえず読んでやって下さいな。
内容については、また後でっつーコトで
ひとつヨロシク～（≧▽≦）／

深雪　2002　MAY


トロ〜ン
ズルンッ


ダ、ダメッ とまらないよオッ
…ム？
うあっ！ ゴメン 起こしちゃった!?
お お姉ちゃん 何してるの？


ビクン
くはぁぁ
アァっ・・・
お姉ちゃん・・・


あっ
お姉ちゃん・・・
ダメだよ?!
ピク
おあんっ
ハサハ
めちゃんこ
カワイイ
ブルブル
スルスル


さぁ、ワタシのオチンチンをペロペロしちゃってェ♥
ずいっ
うぁ アハァ♥ハサハがオチンチンしゃぶってるぅ・・・
オチンチンすごく苦しそう・・・
ペロッ
ペロッ
お姉ひゃん気持ちいい？
はむっ
はむっ


あっ 上手ぅ…
気持ちいいよぉ
はわわ〜〜っ
んぐぐっ
あむむぅーっ
すごいよォ!!
ちゅぱっ
ちゅぷ
最高ォオ
—っ!!


ふあッ 出ちゃうよォ!!
また精液がビュッビュ
たくさん出ちゃうぅっ
アハっ でるうぅ
いっぱい でるうっ
ビュッ ビュッ
あむっ
あーっハサハぁん 飲んでぇっ 精液 全部飲んでぇっ
ゴクン
ゴク
ゴクッ


ワプツッ
あっあっあっ 入ってくるう――!!
もっと力抜いて あとちょっとで 全部入るから
――はっ ンっ――!!



ハサハのお腹
お姉ちゃんので
いっぱいだよォ
ぷるぷる
ドキ
ドキ
・・・大丈夫?
それじゃ ゆっくり
動かすからね
づぅ



あっ ヌルヌルが
いっぱい出てきた
ハサハも
気持ちいい？
ズチュ
ヒイッ
お お姉ちゃん
はげしすぎるぅ
気持ちイイっ
すごいっ！
すごいよォ!!
くちゃん
くちゅ


あっ
い　いやぁんっ
お汁がたくさん
出ちゃってるぅん
アソコが変なの
あっ 熱ういよぉ
お姉ちゃあんっ
止まらないいっ
気持ちイイ!!
ズチュッ
ズチュッ
ひぃ
はひぃ


ハサハ中に精液
出したいよぉ…
いいよね!? ねっ!!
ふあ
私の精液全部
受け止めてぇ
グッチュ
グッチュ
ちゅくっ
あっ
ぁあっ?!
熱うぅっ!!
入ってくるっ
お姉ちゃんの精液
入ってるうっ!!


おあア?!
止まらにゃヒィ
精液が止まらにゃいよォっ!!
はひっ
お・・・姉ちゃんっ
うぅ――う
あぐぅ
――っ
?!
ご ごめんね…
全部出るまでダメみたいなのぉ
ズルテ
ブブブッ


いっぱい出たね
気持ちよかった?
はぁ
はぁ
うん——
気持ちよすぎて
頭まっ白・・・
——私 変だよね
女なのにオチンチン
付いてるし・・・
だいじょうぶ
だよ・・・


私 またいっぱい
いっぱいHなこと
しちゃうかもよ?
——あのね
お姉ちゃんがね——
好きにすれば
いいんだよ?
ハサハはそれに
付いていくから
ハサハ・・・


ずっと一緒だよ
お姉ちゃん



さて、今回の「サモナイ本」は
どーだったでしょーか？

結構製作期間は有ったのですが、
途中、イベントを2回も落選させ
られたコトもあって、そのぶん
入稿のメきりがダラダラと先送り
になっちゃってました。
イカンですね・・・

さて、今回は「トリス×ハサハ」
なんですけとも。ゲーム中は
マグナのほうがLOVE度は高い
気がします。
ハサハのセリフ
が、マグナの
ほうたと良いカンじに
聞こえるンすよ。（笑）

かと言って、
同人誌でマグナは
あんまり描き
たくなかったし。
（スマン）
トリスの方が
はるかに好き、
というか
「強烈に大好き☆」なので
今回はこのような、
「ハートフル・ハートレスマンガ」に
なりました。

ゲームでも、トリスでプレイしても
ハサハとのLOVE値が高いと告白イベント
になりますし。さして、問題はないかと。（

もし、みたびサモナイ2で本を作るとしたら
今度はモナティを描きたいですねっ！

それでは、その日がくることを祈りつつ。
また次の本でお会いしましょう。

深雪
2002 MAY

あー、ども～☆　今回もラフページ作ってみました。
穴埋め的なページとお思いでしょうか。
某ソフトメーカー的に言うならば
コレも仕様のウチなんデスよ～。（笑）

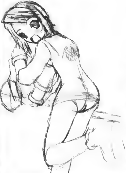
イヤイヤ、なんと言いますか。
無人の模索というのはヒジョーにムズカスィーですなー。
特に感作向けたとね・・・

早いとこ魅力的な絵が描けるようにガンバリマス。

というコトで、今回の表紙にかかっての元絵を
追ってみました。

まぁー、大したモノでもねーですけど。（…）





最近は、パソコンで塗る人が更に
増増したカンジがしますね。
ワタシもそれの便乗組なのですが、
それ自体の善し悪しも未だ模索中
です。

Mac上での作業はG4に移行して
パフォーマンスはかなり上がりま
したし、レイアウトやトリミング
などの編集を考えた時に、何かと
パソコンは好都合ですね。

前回の作業の反省点を踏まえ、今
回は最初にハサハとドリスを個別
から別けて作業しました。



PHOTO SHOPに関してしては
暗黙の了解的な「塗りのマニュアル」が
横行してますが、自分自身もそれが足枷
になっている気がします。

とりあえず「右へ習え」とゆうのも
居心地が悪いですし、(^^;
誰が塗っても同じになるのは
避けたい事象です。
均一化されたら個性なんて無くなるし。

道具なんて使い込むことによって
結果、「自分らしさ」がでるんだから
好き勝手自由にやってみたいと思います。

ま、かなりの道のりですけどね(TDT)

まぁ、なんにしてもそうだと思うんですけども、
やらずに後悔するより、やって後悔した方が
自分の為になるし。

いろいろと、
あーだこーだとムダに考えるより
自分で感じたことを
素直に出して行きたいですね。

人生なんてノリですよ。
楽しんで行きまっしょい☆

当初のレイアウト時には、
ハサハはトリスの後ろに位置していたので
「尻尾の方まで見えねーだろーなぁ」
と思っていたのですが、
「・・・やっぱ描いとくか」
で正解でした。（笑）

ラフの段階から[illegible]てます。

トリスで試行錯誤して時間を喰ったので
それ以降は、描く前に悩まないよーにして
とりあえずラフを描いてから
その絵の善し悪しを判断するようにしてます。





で、表紙を見てのとおり
レイアウト時に左右反転してます。

自分的に本のデザインに関することが
すごくニガテでして、他の作家さんが
カッコイイ本を作ってると
「スゲェなぁ～」と思ってしまいます。

もうちっと、そのヘンのコト含め勉強
が足りねぇと痛感しております。

やれることは限られるのですけども
一歩ずつでも進むしかないんで
やれるコトから順にやっていきますぜ。

そんなカンジのワタクシですが、
よろしければ、これからも
おつき合い下さいませ。



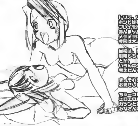
ハイ。このページは本文の没ラフです。
このマンガのために、2～3本分くらい
ラフを描いたのでは？
・・・コストパフォーマンス悪すぎ。

こんなワタシでも、そろそろアシスタント
さん導入を考えてたりします。
商業誌への原稿を考えると、1人では
キツイんで・・・とゆーか。
もー、わりとキツめなんで。

さて、今回はトリスをフタナリさんに
してしまいましたが、本文中には
そのコトについては言及してないんで
補足しておきますか。

えー、と。
一応、設定としては、
調律者としての膨大な魔力が溜まり過ぎると
（何故か）チンコが生えて、魔力（精液）を
（自分で→）強制的に排出してしまう・・・

というコトがネームノートの端っこに
書かれていますが。
・・・記憶がないんで、たぶん描いたのは
ワタシではアリマセン。いや、マジで。



トリス、いい表情してます。(^^;
ホントはもっといろんな
プレイを描きたかったんですけど
あんまりムチャすると話が
メタメタになっちまうんで
今回は大人しめにしときました。

当初は、トリスがハサハの耳に
射精しちゃって大変なコトに・・・
とか。
いろんなヘンタイプレイ（笑）を
考えたんですけどねい。

ま、それらは後々に別な形で
お見せしましょう～。

ちゅーコトで、今後も
エロエロパワー炸裂で
ガツンとガンバリますんで
みなさん応援ヨロシコ！！

Buzz Kick

2002 08/16 初版発行

著者
深雪

ホームページ



スメチル

PRODUCED by 潔雪

UZZKICK